

タンデムスタイル 8月号に eGO が紹介されました！



50cc スクーターの新製品を紹介する

コーナーLOVE FIFTY！

記事を下記に掲載します。

記者は(株)クレタの斉藤さんです。

ヤマハからパッソルが登場したときも  
驚いたけれど、なんと  
電動バイクのムーブメントは  
あの大国をも動かしちゃったのだ！

そりやもうびっくりなのである。今回紹介する車両は電動バイク。ヤマハのパッソルと同じく100%電気だけで走ると言うシロモノだって言うんだから。しかも！このバイクは海の向こうのアメリカからやって来たというじゃないの！

アメリカといえばはるか地平線の先まで伸びた直線道路のある国。かのハーレーダビッドソンを育てた国なのだ。どうやら電動バイクの可能性は、道路事情などの垣根を越えて世界中で注目されているようだ。

さてこの eGO2 という車両だが、作っているのはロードアイランド州にあるという「EGO VEHICLES」社。ちなみに現在はアメリカとカナダ、イギリス、フランス、ドイツなどに代理店を展開して販売されているそうだ。日本に入ってきたのはごく最近ということで、まさに新着ホヤホヤの注目モデルなのである。もちろんこのコーナーで紹介しているくらいだから、車両区分としては原付一種。最近インターネットを通じてオモチャの電動スクーターなどが販売されていることも多いが、この eGO2 は日本の道路車両運送法に定められた保安基準を満たしているので公道走行が可能だ。つまりクローズドコースの中で遊ぶだけでなく、通勤や買い物など完全に実用として使えるってことなのだ。ユーザーの選択肢に新たに加わった電動バイクの世界。今後の動向が非常に楽しみである。

電動バイクだと思ってあなどっていたら、けっこう速いですこれ！  
カタログではスピード重視モードで最高速度 37km/h という数値。  
加速感もあるし、乗り手に「お、意外に速い！」という感想を抱かせる動力性能を持っています。

航続距離もカタログ上では最高 40km ということで、自宅付近を走る限りではなんら問題はないはず。弱点はやっぱり、バッテリーだけを取り外して充電できないこと。

小さなマンションやアパート住まいの人ははっきり言ってツライだろうなあ。でもどうにかアイデアで乗り切って欲しい、それだけのオモシロサのあるバイクです！

- 走行中に聞こえるのは、ほんのわずかなモーター音だけ。街中での注目度も絶大で、思わず、「すごいでしょ〜？」と鼻高々になっちゃいました。
- 走行モードには省エネ重視とスピード重視の2種類があり、イグニッションキーで切り替える。もちろんバッテリー残量のメーターも装備。
- グリップの太くなっている部分がアクセルで、親指と人差し指だけで回すようなイメージ。一応スピードメーターも装備。
- パワーユニットはすべてボディーの中。タイヤの駆動はベルトでおこなっているのだ。走行中のノイズはまったくない。
- 充電は車体とコンセントを専用コードでつなぐ方式。ガレージのない人や、玄関先までバイクを持ってこられない人はツライか・・・？
- なんと！フロントブレーキにはディスクを採用！しかし油圧ではなくワイヤー式というフシギなメカニズムなのだ。
- リヤは自転車と同じカンチレバー・ブレーキ。もちろん制動力は自転車レベルだが、フロントが効くので問題なさそうだ。



私が担当しました、

★スタッフの素顔が見れる Web Tandem 発信中→ <http://www.crete.co.jp/tandem-s/>

問い合わせ先：ecoMoto Inc. (有) エコ・モト

TEL：042-543-9646

email: info@ecomotoinc.com

HP：http://www.ecomotoinc.com